

人は人を浴びて人に染る

～ふるさと形原を愛する形中生～



ぴん跳ね飛躍の年

あけまして
おめでと
ございます



祝 西浦先生
二女誕生

12/25(日)0時、
3年4組担任、西浦伸明
先生のお子さん(二女)
が誕生しました。

名前は、「みお」さんで
す。体重3,690gで、
母子ともに健康です。

クリスマスに授か
るなんて、最高のプレ
ゼントですね。

おめでとうございます。



形中生・保護者・地域のみなさん、あ
けましておめでとうございます。今年もよろ
しくお願いします。

昨年1年間、大きな事件・事故もなく、
形中生全員がこうして元気に新年を迎え
られたことをうれしく思います。

さて、2023年は「癸(みずのと)卯
(う)」です。卯年は、芽を出した植物が
成長して茎や葉が大きくなる時期で、目
に見えて大きく成長する年だと言われて
います。また、うさぎは跳びはねることか
ら、飛躍の象徴で、新しいことに挑戦す
るのに最適な年と言われています。

2020年1月15日、新型コロナの感
染が日本で初めて確認された日から、も
う3年が過ぎようとしています。「石の上
にも3年」、辛くても辛抱していれば好転の
芽が出てくる時期です。生徒のみなさん
が、この3年間で得た忍耐力・転換力・
発想力を存分に発揮し、うさぎのようにび
よんと跳ねる飛躍の年にしていきましょう。

そして、新年早々うれしいニュースで
す。杉浦先生に続き、西浦先生にもお
子さんが産まれました。幸先の良いスタ
ートとなりました。

新しい年を形中生が 元気に過ごせるように Web 全校餅つき大会



12/22(木)、学校集会で「Web 全校餅つき大会」を行いました。日本では米を固めてつくる餅には、強い生命力が宿ると信じられ、正月や節句などの特別な日に、縁起物(鏡・菱・柏餅等)としてお供えするようになったそうです。また、餅つきは1人ではできないので、連帯感を高めるために行われるようになったとも言われています。〈諸説あり〉

しかし、最近では杵と臼を使った伝統的な餅つきが家庭でおこなわれなくなりました。生徒たちのほとんどが餅つきの経験がありません。そこで、日本の伝統文化の継承と形中生が新年を元気に迎えられるように願いをこめて、Webでの全校餅つき大会をおこなうことにしました。

画面に映った各クラスの代表が杵を振り下ろすと、学級全員が「よいしょ！」とかけ声をかけ盛り上げました。3年生の代表者は、サンタクロースやドラえもんなどに着替えて餅をつき、笑いをさそいました。冬休み前の最後の日、学校全体が温かい空気に包まれました。形中生の連帯感が高まったと思います。この企画は近藤教頭先生が考えてくれました。ありがとうございます。

12/22(木)、1年生が1月から産休にはいる貴恵先生の送別会を開いてくれました。先生は、本校に5年間勤務され、学級担任、家庭科の先生、バレー部等の顧問として形中のために頑張ってくれました。困っている生徒に寄り添い、応援してくれる優しい先生でした。助けられた生徒も多いと思います。お別れするのは寂しいですが、元気な赤ちゃんを産んでほしいですね。みんなで応援しましょう。



貴恵先生からのメッセージ

1月から産休に入ることをみなさんにお伝えして以来、多くの子から温かい言葉をかけてもらったり、気づかってもらったりしました。お休みに入ることにさみしい気持ちもありますが、そんな優しく思いやりあふれるみんなに出会えたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今までありがとうございました。

